



愛を着けなさい！

コロサイ 3:1-17

使徒パウロは、聖霊に導かれてコロサイ人へ手紙を書きました。みことばの中でも、2章は人の心を解き放ってくれる箇所です。

その中で、人がイエス・キリストに信仰をおくと、このお方にあって完全な者となることを教えられました。

キリストにあって、コロサイの人々は肉のからだを脱ぎ捨て(11 節)

新しいいのちを得て(12, 13 節)

罪許され、伝統的には課された定めを無効にされ(14 節)

支配と権威から解放されました(15 節)

そのことがわかれば、クリスチャンである私たちが、キリストを信じる信仰によってすでにいただいたものの他に何も追加する必要がないことがわかります。

主をたたえます！

ということは、私たちはキリストにあって、いつでもどこでもしたいことをする自由があるということですね。

本当にそうでしょうか。

聖アウグスティヌスは、まさにそう言いました。

彼のモットーは「神を愛し、思うままに行動しよう」

表面的には、これは罪犯し放題の言葉に聞こえます。

「神を愛してさえいれば、何でも好きなことをしてもよい。私のすることを何でも神は認めてくださる。」

でも、本当にそうでしょうか。

クリスチャンである私たちが本当に神を愛しているなら、神に喜んでいただけることをしたいと思うはずだ、ということをアウグスティヌスはわかっていたようです。

というのも、私たちが神を愛しているなら、聖霊が私たちを変えてくださり、神の喜ばれることが私たちの喜びとなるからです。

神であるイエスもこのことについてこうおっしゃいました。

ヨハネ 14:15 もしあなたがたがわたしを愛するなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです。

使徒ヨハネも同様のことを語っています。

1ヨハネ 5:3 神を愛するとは、神の命令を守ることです。その命令は重荷とはなりません。

そして、詩篇の著者もこう記しています。

詩篇 119:93 私はあなたの戒めを決して忘れません。それによって、あなたは私を生かしてくださったからです。

ですから、私たちが神を愛していれば、本当に好きなことをしてもよいわけです。そして、私たちのすることを神が喜んでくださるのです。

簡単でしょう？

でも、人間関係でもそう簡単にはいかないものです。

なぜでしょう。

なぜなら、

1. 相手が本当に好きなことと嫌いなことがわかるためには相手を良く知る必要がある。それには時間がかかるから。

2. そう簡単にいかないのは、どれほど相手を愛していて、喜ばそうとしても、

私たちのうちに、自分勝手な部分があるからです。そうではありませんか。

けれども、愛することを心に決め、愛する努力をするうちに、いつか愛を優先させることができるようになります。

そして、これがコロサイ 3章でパウロが教えてくれることです。

キリストに人生を明け渡した生き方がどのようなものか、ということです。1節にはこうあります。

コロサイ 3:1 こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。

もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、とはどういう意味でしょう。
先週学んだように、それは、イエスに信仰を置いたという意味です。罪深く身勝手な古い生き方に死に、キリストとともに新しいいのちへとよみがえらされた、ということです。
言い換えれば、生まれ変わったのです。私たちは新しい被造物です。
これは、どのようにして起こったのでしょうか。

1ヨハネ 4:19 私たちは愛しています。神がまず私たちを愛してくださったからです。

神がまず私たちを愛してくださった…

ローマ 5:8 しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。

ということは、

コロサイ 3:1 こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。

キリストのおられる上にあるものを求めるとはどういう意味でしょう。

私がエイミーを好きになったとき、私はカリフォルニアにおり、エイミーは日本にいました。
なので私は、体はカリフォルニアにいても、頭も心も東京にありました。

おもしろかったことは、エイミーを好きになる前は、私に興味を持ってくれるかわいい女性はありませんでした。
けれども、エイミーを好きになったとたん、どうなったと思いますか。
急に、クリスチャン、ノンクリスチャンにかかわらず、たくさんの魅力的な女性が私にアプローチしてきたのです。

私にとってそれは誘惑だったのでしょうか。もちろんです。肉では、注目されてうれしかったです。
誘惑ではなかったし、注目されるのも嫌だったなどと言えば、嘘になります。
そういうとき、どうしたと思いますか。
いつも同じことをしていました。今もそれは同じです。

1コリント 10:13 あなたがたの会った試練はみな人の知らないものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを、耐えられないほどの試練に合わせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えてくださいます。

脱出の道とは何でしょうか。
それは愛です。

あなたが神を愛していて、キリストとともによみがえられ、すべての罪を赦していただいたのなら、2 節

コロサイ 3:2 あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。

昔からある賛美もそう歌っているでしょう。

「目を上げて主の 御顔を見るとき
この世のものは薄れ 主の栄光輝く」

コロサイ 3:3 あなたがたはすでに死んでおり、あなたがたのいのちは、キリストとともに、神のうちに隠されてあるからです。

隠されてあるとは、どういう意味でしょう。
子どものころ、よくかくれんぼをしました。
たまに、カバーの下に隠れることができました。
カバーに完全に覆われてしまったら、何が見えるでしょう。
あまり何も見えません。「この世のものは薄れ」たのです。
でも、何か見えるとしたら、カバーそのものです。

同じように、私たちのいのちがキリストとともに神のうちに隠されるなら、主の栄光と恵みのおおいのもとで、この世のものは薄れるのです。

もうひとつ言えることがあります。

かくれんぼをしていて、私が完全にカバーの下に隠れたら、私を探している鬼役の人には、何が見えるでしょう。

カバーに包まれた私でしょう。

キリストとともに神のうちに隠された私たちクリスチャンのいのちも同じです。

世間が私たちを見るとき、キリストの愛に包まれた私たちを見るのです。

けれども、残念ながら、私たちは「いないいないばあ」をするのが好きなようです。

時折、罪深い古い性質が見え隠れしてしまうのです。

または、カバーや毛布を完全に取ってしまうこともあります。

カバーを取ると、見つかってしまいます。

神の愛のおおいのない状態で、人に見られてしまいます。

もちろんそれは良くないことです。

けれども、おわかりいただきたいのは、クリスチャンだと宣言するのは、私たちが完璧な人間だという意味ではありません。クリスチャンだと宣言することは、私たちがどうしようもない罪人で救い主が必要だということです。

私はエイミーを深く愛していますが、不覚にも彼女をがっかりさせることもあります。私は完璧ではありません。

けれども、エイミーが誰かに、「ジョセフはあなたを愛していますか」と聞かれれば、

「はい」とエイミーが答えてくれることを疑いもなく信じています。

あらゆる欠点があるにせよ、私がエイミーを心から愛していることを、彼女は知ってくれているはずです。

皆さんの配偶者に、愛されているかどうか聞くことは今日はしないので、ご安心ください。

来週は、結婚について少し触れるので、そのときに聞くことにします。

なので、一週間お互いに頑張ってください。(冗談です)

もし、神に、あなたが神を愛しているかどうか聞けたらどうでしょう。

神はどうお答えになるでしょう。

私たちは欠点ばかりで完璧には程遠いけれど、私たちが神を愛していることは確かだと言ってくださいませんか。

神ご自身にそう言っていただけるなら、

他の人を納得させる必要はありません。

けれども実際には、神ご自身がそう言ってくださるなら、

他の人を納得させようとしなくても、

世間の目にも明らかになるでしょう。

コロサイ 3:3 あなたがたはすでに死んでおり、あなたがたのいのちは、キリストとともに、神のうちに隠されてあるからです。

ですから、

コロサイ 3:4 私たちのいのちであるキリストが現れると、そのときあなたがたも、キリストとともに、栄光のうちに現れます。

私たちはキリストとともに、何のうちに現れますか。栄光ですね。皆さんと一緒に、「栄光！！」

なんと栄光ある光景でしょう。

主は再び来られます。

「でもジョセフ、クリスチャンは 2000 年以上も同じこと言ってるでしょう」と思いますか。そのとおりです。

2ペテロ 3:8 しかし、愛する人たち。あなたがたは、この一事を見落としてはいけません。すなわち、主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。

2ペテロ 3:9 主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

2ペテロ 3:10 しかし、主の日は、盗人のようにやって来ます。その日には、天は大きな響きをたてて消えうせ、(*)天の万象は焼けてくずれ去り、地と地のいろいろなわざ(**)は焼き尽くされます。

すべては焼けて崩れ去るのです。

それが、今日か 1000 年後か知る由もありません。

わかっていることは、主がおっしゃったのなら、そのとおりになるということです。

けれども、私たち一人ひとりにおいては、どれくらいの時間が与えられていると思いますか。

私たちには一秒後の将来も約束されてはいません。

コロサイ 3:5 ですから、地上のからだの諸部分、すなわち、不品行、汚れ、情欲、悪い欲、そしてむさぼりを殺してしまいなさい。このむさぼりが、そのまま偶像礼拝なのです。

先週、2コリント10:5を読みました。そこには、私たちは、さまざまの思弁と、神の知識に逆らって立つあらゆる高ぶりを打ち砕き、すべてのはかりごとをとりこにしてキリストに服従させるべきだとありました。

世間では受け入れられているものの一例をここで紹介します。

神のみことばはこれらを言語道断だと言っています。

不品行、汚れ、情欲、悪い欲、

これらはすべて、性的な罪を指しています。

私たちはクリスチャンは、神の子です。神の子は、そのような衝動や欲望に身を任せてはいけません。

パウロは、このようなものを殺してしまい、これらに支配されないようにしなさいと語っています。

1コリント 6:18 不品行を避けなさい。人が犯す罪はすべて、からだの外のもので。しかし、不品行を行う者は、自分のからだに対して罪を犯すのです。

1コリント 6:19 あなたがたのからだは、あなたがたのうちに住まれる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたは、もはや自分自身のものではないことを、知らないのですか。

1コリント 6:20 あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現しなさい。

コロサイ 3:5 ですから、地上のからだの諸部分、すなわち、不品行、汚れ、情欲、悪い欲、そしてむさぼりを殺してしまいなさい。このむさぼりが、そのまま偶像礼拝なのです。

最後の部分で、

むさぼりが、そのまま偶像礼拝とあります。

これは非常に興味深い一節です。というのも、偶像礼拝と聞くと、人の手で造られた像を拝むことだと思いがちです。しかし、私たちが神以上に求め、むさぼるものが、私たちの神となっていて、それが偶像礼拝だと言っているのです。

思い違いをしてはいけません。

コロサイ 3:6 このようなことのために、神の怒りが下るのです。

コロサイ 3:7 あなたがたも、以前、そのようなものの中に生きていたときは、そのような歩み方をしていました。

コロサイ 3:8 しかし今は、あなたがたも、すべてこれらのこと、すなわち、怒り、憤り、悪意、そしり、あなたがたの口から出る恥ずべきことばを、捨ててしまいなさい。

コロサイ 3:9 互いに偽りを言うてはいけません。あなたがたは、古い人をその行いといっしょに**脱ぎ捨てて**、

古い人と、先ほど挙げたような行いとをいっしょに**脱ぎ捨てて**、とありますが、どうすればできるのでしょうか。

誰かに 1000 円を渡して、ジャケットを脱いでくださいと言ったら、その人はどうするでしょう。

いろいろ考えて悩むでしょうか。

「1000 円はほしいけど、ジャケットの脱ぎ方わからないし、できないと思う。ジャケットは私の一部分だし、ずっと着てるからなあ。どうしよう、どうしよう」と考え込むでしょうか。

お金がほしい人なら、どうすると思いますか。
ジャケットを脱ぐでしょう。

ということは、古い人の脱ぎ方がわからないというのが問題ではなくて、問題は、古い人を脱ぐ気があるかどうかです。

脱ぐ気さえあれば脱げます。
それは日々の選択です。

コロサイ 3:10 新しい人を**着た**のです。新しい人は、造り主のかたちに似せられてますます新しくされ、真の知識に至るのです。

古い人を脱ぎ捨てたら、新しい人を着なければなりません。

どうやって新しい人を着ればよいのでしょうか。
新しい人は、**真の知識に至る**とあります。みことばの中で神が何を語っておられるかということに飢え渴きます。

詩篇 1:1 幸いなことよ。悪者のはかりごとに歩まず、罪人の道に立たず、あざける者の座に着かなかつた、その人。
詩篇 1:2 まことに、その人は【主】のおしえを喜びとし、昼も夜もおしえを口ずさむ。

ローマ 12:2 この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、**心の一新によって自分を変えなさい**。

神を知ることによる心の一新をとおして、私たちは新しい人を着ることができます。

コロサイ 3:11 そこには、ギリシヤ人とユダヤ人、割礼の有無、未開人、スクテヤ人、奴隷と自由人というような区別はありません。キリストがすべてであり、すべてのうちにおられるのです。

新しい人は、神の家族の一員です。特定の人種や民族、社会階級や文化をえこひいきすることはありません。なぜなら、この新しい家族では、**キリストがすべてであり、すべてのうちにキリストがおられる**からです。

コロサイ 3:12 それゆえ、神に選ばれた者、聖なる、愛されている者として、あなたがたは深い同情心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を**身に着けなさい**。

コロサイ 3:13 互いに忍び合い、だれかがほかの人に不満を抱くことがあっても、互いに赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたもそうしなさい。

このような言葉を見て、
不可能だと思うのは簡単です。
こんなこと私にはとてもできない！と。
そのとおりです。

イエスはおっしゃいました。
マルコ 10:27b「それは人にはできないことですが、神は、そうではありません。どんなことでも、神にはできるのです。」

神の掟のあるところに、神の助けもあります。
神が私たちに何かするように命じられたなら、それができるように必ず助けてくださいます。

そういうわけで、パウロはこの一節にそのことを集約しました。

コロサイ 3:14 そして、これらすべての上に、愛を着けなさい。愛は結びの帯として完全なものです。

愛を着けなさい。
ラブラブなどの軽い意味での愛ではありません。
ここで使われている原語ギリシヤ語の単語はアガペです。

それは、自己犠牲の伴う無条件の神の愛です。

神の愛こそが、この個所に説かれたことの要約です。というのも、私たちが置かれたあらゆる状況におけるすべての関わりで、神が私たちに要求されることを、完全に満たすのが愛だからです。

パウロはただ着けなさいと言っています。神が私たちに惜しみなく与えてくださったものを他の人に分け与えなさいということです。

それは、神の愛です。

コロサイ 3:15 キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。そのためにこそあなたがたも召されて一体となったのです。また、感謝の心を持つ人になりなさい。

何か重大な決断を迫られているときに、誰かに相談して

こんなふうに言われたことがありますか。

「あなたの心は何と言っていると思う？」

これは世界一最悪のアドバイスです。

なぜかというと

聖書はなんとおっしゃいますか。

エレミヤ 17:9 人の心は何よりも陰険で、それは直らない。だれが、それを知ることができよう。

ですから、重要なのは「あなたの心が何と言っているか」ではなく、

「神があなたに何と語っておられるか」です。

コロサイ 3:15 **キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。**そのためにこそあなたがたも召されて一体となったのです。また、感謝の心を持つ人になりなさい。

ここで支配すると訳された原語ギリシャ語の単語は、まさに支配するという意味です。

1018 brabeuw brabeuo {brab-yoo'-o}

- 1) 審判になる
- 2) 決心する、決定する
- 3) 指導する、監督する、支配する

パウロは、神の平安が私たちの心を支配するようにしなさいと勧めています。

神に審判になっていただきなさい。

神に決めていただきなさい。

神に私たちの心を指導し、監督し、支配していただきなさい。

野球の審判のように、

心のホームベースに感情がすべりこんできたら、

神に決めていただきましょう。それがセーフなのかアウトなのか。

そうです。中間はありません。

セーフかアウトかです。

フェアかファウルかです。

規則本である

神のみことばに則らなければなりません。

ジョセフや親しい友人、どこかの偉い先生の言葉ではなく、

神のみことばに従うのです。

パウロは続けます。

コロサイ 3:16 **キリストのことばを、あなたがたのうちに豊かに住ませ、知恵を尽くして互いに教え、互いに戒め、詩と賛美と霊の歌とにより、感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい。**

コロサイ 3:17 **あなたがたのすることは、ことばによると行いによるとを問わず、すべて主イエスの名によってなし、主によって父なる神に感謝しなさい。**